

## 【図書館歳時記】 「それでも、前を向いて」

梅の花が咲き始め、日差しも明るさが増して、春の訪れが近いことを知らせてくれています。春から新生活を始める方の参考になるような、生き方などについての人生訓に関する資料は、5階南側の「26AB」の書架にあります。寒い冬があるからこそ、暖かい春を待ち遠しく感じるのかもしれませんが、立ち止まったり、振り返ったりしながらも、前を向いて歩いていきましょう。



## おすすめの本の紹介

『ただ、そこにいる人たち』【369.2-タ】  
（一般書・社会福祉）小松理虔 著 現代書館

著者の小松さんが一年かけて、静岡県浜松市にある障害支援施設クリエイティブサポートレッツを月に一度訪問し、通所する障害者やスタッフの方たちと一緒に過ごした体験を通じて、障害者たちとの関係や福祉施設の在り方を書いたものです。

小松さんは、2011年3月の東京電力福島第一原発事故後の状況を発信していますが、本書では、障害福祉の現場と福島の現場を重ね合わせ、当事者の孤立や支援者、周辺の関わり方などにも触れています。

家族や支援者以外の方が「共事者」として、福祉施設に関わることの大切さを説いています。

『お探し物は図書室まで』【F-アオ】  
（一般書・小説）青山美智子 著 ポプラ社

物語の舞台は、小学校に併設されたコミュニティハウスの一角にある小さな図書室。

無愛想だけど聞き上手な司書・小町さゆりさんと、図書室を訪れる悩める人々との「レファレンスサービス」を通じた交流を描いています。

思いもよらない選書と、可愛い付録で人生を後押ししてくれる小町さん。彼女が選んだ本には、いわき市出身の詩人・草野心平の詩集も登場します！

仕事や人生で悩んでいる時。自分に自信が持てなくなった時。今の自分を変えたいと感じた時…。そんな時に読んでほしい、心が温くなる一冊です。

『小さな家のローラ』【933.7-ワイ】  
（一般書・物語）ローラ・インガルス・ワイルダー 作  
安野光雅 絵・監訳 朝日出版社

アメリカの西部開拓時代に家族が支え合いながら、力強く生きる姿を、5歳の女の子の視点で綴った全てのページに、安野さんが淡い色合いで彩り豊かな絵を添えた、絵本のような物語です。

冬に備えた食料作りや、町へ出かけた時の様子などが作者の体験を基に、生き生きと描かれています。

厳しい自然と向き合い、誠実に生きる家族の姿から、心の豊かさとは、思いやりとはどういうことなのかを、考えさせてくれます。

冬の雪の夜の場面を読んでも、暖炉にあたっているかのように、心がじんわりと温かくなる一冊です。

『ドキュメント「はやぶさ2」大冒険』  
【538.9-ド】（一般書・宇宙工学）  
NHK 小惑星リュウグウ着陸取材班 著 講談社

「生命体はどこから来たのか？」「太陽系はどのように誕生したのか？」という宇宙開発の2大テーマを解明するため、日本の探査機「はやぶさ2」が小惑星のかけらを持ち帰るまでの2195日を取材した記録です。直径約10cmの人工クレーター作成、着陸精度60cmのタッチダウンなど、「世界初」を達成した舞台裏は、困難の連続でした。様々な「想定外」が起きても決してあきらめず挑戦する姿は、勇気を与えてくれます。リュウグウから玉手箱を持ち帰っても、2031年の次の小惑星到着まで、100億kmの旅が続いています。今後の大冒険も応援したくなる本です。

## 貸出 TOP10

(令和2年12月末現在)

順位	書名	著者名	出版社
1	ホテルローヤル	桜木紫乃	集英社
2	さよならの儀式	宮部みゆき	河出書房新社
3	少年と犬	馳星周	文藝春秋
4	沈黙のパレード	東野圭吾	文藝春秋
5	希望の糸	東野圭吾	講談社
6	そして、パンは渡された	瀬尾まいこ	文藝春秋
7	ライオンのおやつ	小川糸	ポプラ社
8	流浪の月	凧良ゆう	東京創元社
9	かいけつゾロリのちていたんけん	原ゆたか	ポプラ社
10	クスノキの番人	東野圭吾	実業之日本社

## 予約 TOP10

(令和3年1月26日現在)

順位	書名	著者名	出版社
1	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東野圭吾	光文社
2	クスノキの番人	東野圭吾	実業之日本社
3	JR上野駅公園口	柳美里	河出書房新社
4	流浪の月	凧良ゆう	東京創元社
5	とわの庭	小川糸	新潮社
6	推し、燃ゆ	宇佐見りん	河出書房新社
7	心淋し川	西條奈加	集英社
8	今度生まれたら	内館牧子	講談社
9	半沢直樹 アルルカンと道化師	池井戸潤	講談社
10	家族じまい	桜木紫乃	集英社

## 「本の貸出福袋」を貸し出しました

いわき市立図書館では、図書館の利用促進を図ることを目的に、いわき総合図書館では令和3年1月2日（土）から、小名浜・勿来・常磐・内郷・四倉図書館では1月4日（月）から、「本の貸出福袋」を貸し出しました。

「本の貸出福袋」には、図書館職員がそれぞれのテーマに沿って選び抜いた本が3冊入っており、本のタイトルなどは伏せられていて、借りて開けるまでのお楽しみとなっていました。

今年は密を避けるために、いわき総合図書館では分散して配置しましたが、初日の14時過ぎには全て貸し出されました。



【いわき総合図書館の様子】



## いわき総合図書館の開館時間等の変更について

令和3年1月12日に発表された、福島県新型コロナウイルス緊急対策を踏まえ、市立図書館を利用する皆様の感染防止を図るため、開館時間及びサービスの一部を変更しています。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### ■実施期間 令和3年1月15日（金）から2月7日（日）まで

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって、変更する場合があります

### ■開館時間 いわき総合図書館 平日・土曜日 10時から20時まで（閉館時間を1時間繰り上げ）

※いわき総合図書館の日曜日・祝日、地区図書館の平日・土曜日、日曜日・祝日の変更はありません

### ■変更しているサービス

- (1)いわき総合図書館
- ・閲覧席、学習室、AVブースの席数の一部減
  - ・インターネット及びデータベースの利用席数の一部減
  - ・セミナー及びおはなし会等の中止
- (2)地区合図書館
- ・閲覧席の席数の一部減
  - ・おはなし会の中止

